

**令和5年度第22回都市経営会議 令和6年（2024年）1月10日（水）開催**

1 宝塚市援護資金貸付基金条例を廃止する条例の制定について

【提 案】 健康福祉部

【結 果】 承認

【質疑等】

・ 尼崎市と西宮市では過年度に制度が廃止されているが、両市の債権管理状況を把握していれば教えてほしい。

⇒ 詳細は把握していないが、残額は現在も徴収していると聞いている。

・ 債務者16人に償還能力はあるのか。

⇒ 債務者全員とは連絡が取れており、時効にならないよう債権管理マニュアルに基づき適切に管理しているが、中には高齢の方もおり、少額に分納でしかお返しいただけない場合もある。

・ 県社会福祉協議会の貸付制度に保証人は必要か。

⇒ 貸付の内容が多岐に渡っており、必要なものとそうでないものがある。

・ 全体的に見て県社会福祉協議会の貸付金の方が借りやすく有利であると説明できるのか。

⇒ そうである。

・ 返還が難しい場合や債務者がお亡くなりになられた場合は免除となるのか。その場合でも、市からの持ち出しは無いという認識で良いか。また、基金残高を一般会計に繰り入れることに問題はないか。

⇒ 免除となる。市から別のどこかへ返還する性質のものではないため持ち出しは不要であり、一般会計への繰り入れも問題ないものとする。

2 宝塚市営霊園永代管理料基金条例を廃止する条例の制定について

【提 案】 環境部

【結 果】 承認

【質疑等】 なし

3 令和5年度事業検証結果等に係る答申について

【報 告】 企画経営部

【質疑等】 なし

4 JR武田尾駅周辺地区バリアフリー基本構想（案）に係るパブリック・コメントの実施について

【提 案】 都市安全部

【結 果】 承認

## 【質疑等】

- ・ 市バリアフリー基本構想策定協議会の委員名簿について、公募市民委員の肩書は記載不要では。記載することにより、地区代表として審議に参加されたように見える。
- ⇒ ご指摘のとおり、公募市民委員は通常、肩書を記載しないように思う。地区代表として選んだのであれば別として、今回は公募という前提であるため肩書は削除させていただく。
- ・ 概要版記載の市道 3326 号線は、歩道がなく外側線が引かれている道路かと思う。様々な団体と現地調査をされる中で、例えば歩道を設置してほしい等の要望はあったか。歩行空間の確保という意味では、歩道まで設置するかは別にして、例えば色を付けるなど、もう少し工夫しても良いのではと感じた。
- ⇒ 8月の第1回協議会の開催に合わせて委員の皆さんで周辺地区を歩いていただくまちあるきを実施した。市道 3326 号線には歩道がなく外側線があり、それが完全に消えてしまっていたため委員の皆さんからケアしてほしいと意見は出たものの、それ以外のお声はなかった。市道 3326 号線を東に進んだところにある市営駐車場付近は車の出入りもあり、物理的に歩道の設置が難しい状況にあることも影響しているのではないか。
- ・ 「まちあるき」という表現は一般の方に伝わりにくいのでは。
- ⇒ 「現地調査」など、分かりやすい文言に修正する。
- ・ 概要版ではバス停上屋の「設置」、武田尾公園の点字ブロックは「改善」とあるが本編 35 ページでは、それぞれ「設置検討」「改善検討」となっている。文言を統一してはどうか。
- ⇒ 基本的にはすべて実施する考えであるため、「設置」「改善」に文言を統一する。
- ・ 概要版右上の地図について、地図内の黒の点線は不要では。
- ⇒ 駅から半径 500m の範囲を示すものであるが、事業の対象に含まれる武田尾公園が点線の範囲外になってしまっている。現状は 500m ちょうどのところに線を引いているが、概ね 500m という一つの目安とし、範囲内に公園も入るよう修正を試みる。
- ・ バス停の上屋は道路上に立つのか。
- ⇒ 後ろが崖であるため、歩道上にしか設置できないものと考えている。
- ・ であれば、建築許可が必要になるため、通常のスケジュールより半年程度早めに建築基準法上の許可を取っていただきたい。
- ・ 駅舎と道路があるが、国費を除く市の財政負担はどの程度となる見込みか。
- ⇒ 駅舎は JR 側が概略設計を行っているが、比較的高額となる見込みである。現時点の想定では、トイレや改札など構造上の変更が必要となることもあり、エレベーターの設置費を含め、総事業費は 10 億円を超える見込みである。負担割合は、国が 1/2、県が 1/4、市が 1/4 で、JR 側の負担はない。

道路部分等については基本構想の段階であるため金額は出ていない。短期的には外側線の引き直しや点字ブロックの設置等、通常の維持管理の範疇でできる内容である

ため、それほど大きな負担にはならないものと考えている。

なお、工期については工事期間中も駅を利用できる状態とするため、令和6年度の設計後に少し変更があるかもしれないが、令和7年度の着工から概ね4年の期間を要する見込みである。

- ・ 地元の利用増進を図るなど、駅舎のバリアフリー化を契機に地域振興に繋がられないか。今回の整備がそうしたきっかけになればと思い、意見とさせていただきます。

#### 5 やさしいたからづか推進計画（第2期）（案）～宝塚市自殺対策計画～ にかかるパブリック・コメントの実施について

【提 案】 健康福祉部

【結 果】 承認

【質疑等】

- ・ 重点施策7「性的マイノリティへの支援の推進（3）パートナーシップ制度を推進します」について、総務部と協議は行っているか。

⇒ 庁内連絡会議等で各部局の出席者からは文言について了承は得ているが、今一度、総務部に確認する。

- ・ 本編2ページに、自殺しようか悩んでいる人へのメッセージが記載されており、行政計画としては珍しいように思う。行政計画の多くは中々読んでほしい方に届かないことも多いが、そこを何とか読んでいただきたいという思いを感じた。どうしても主観が入るため賛否両論あるかもしれないが、読もうと思ってくれる人がいるかという点で評価できる。これからの行政計画の参考にできるのではないか。意見として申し上げておく。